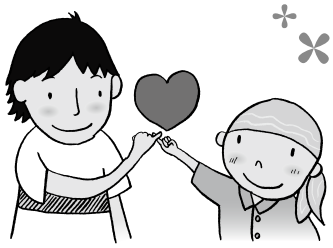
いのちのぬくもり
GIFT
特定非営利活動法人骨髄バンクサポート新潟　ニュースレター　Vol. 16（2014 年２月発行）



第3回 作文コンクール表彰式

平成25年12月1日（日）「第3回骨髄バンクにまつわる命の作文コンクール」表彰式がイオン上越店アコーレ1階セントラルコートにて開催されました。審査委員長小埜裕二先生（上越教育大学教授）を中心に松井千鶴子先生・佐藤ゆかり先生（上越教育大学准教授）による厳正な審査のもと、特別賞5作品、優秀賞10作品、そして十日町市立田沢小学校が審査員特別賞を受賞されました。田沢小学校からは、大変多くご応募頂きました。その理由は渡邉校長先生がご自身の闘病体験を命の授業として全校生徒にお話をして下さっているそうです。身近な人の話には心を動かされるのですね。来年は高校生からの応募が多くあるよう働きかけていきたいです。

残念ながら特別審査委員の上原浩治氏からの出席は大活躍をされたこともあり叶いませんでしたが、応援メッセージを送って頂き当副理事長の小島が代読しました。

第3回骨髄バンクにまつわる命の作文コンクール」の開催、誠におめでとうございます。今回も現地に行くことができず､非常に残念です。申し訳ございません。皆さんもご存知かと思いますが、私が所属するボストン・レッドソックスがワールドシリーズを制覇し、世界一になることができました。たくさんのご声援ありがとうございました。これまでコツコツとトレーニングを継続してきたからこそ、いい結果に繋がったと思います。骨髄バンクの活動や作文コンクールも同じで、これからも継続していくことで大きな力が生まれてくると思います｡皆さん､これからも骨髄バンクのサポート、よろしくお願い致します！

ボストン・レッドソックス　上原浩治

第3回骨髄バンクにまつわる命の作文コンクール　入賞者一覧

◆新潟県知事賞

「少しの勇気」

細野　芽生（上越市立直江津東中学校1年）

◆新潟日報賞

「元気になった校長先生」

富井　優花（十日町市立田沢小学校3年）

◆日本骨髄バンク賞

「いのちのあさがおを読んで」

岩崎　駿（上越市立飯小学校5年）

◆骨髄バンクサポート新潟賞

「提供者は」

渡辺　結羽（新潟市立白新中学校2年）

◆上原浩治賞

「生きることの大切さ」

徳井　里紗（十日町市立田沢小学校6年）

◆審査員特別賞

十日町市立田沢小学校　校長　**渡邉　雅之**

◆優秀賞

「一人では生きていけない」

富井　和咲（十日町市立田沢小学校3年）

「校長先生のお話し」

山本　莉由（十日町市立田沢小学校3年）

「『命』ってすばらしい』

樋口　榛乃（十日町市立田沢小学校5年）

「約束のキャッチボールを読んで」

石井　丈士（上越市立高志小学校6年）

「もしも、私が…」

樋口　里沙（十日町市立田沢小学校6年）

「命の大切さ」

保坂　唯夏（十日町市立田沢小学校6年）

「あらためて、思うこと」

石塚　瑞希（新潟県立直江津中等教育学校2年）

「『骨髄バンクの大切さ』について」

嶋岡　龍吾（柏崎市立南中学校2年）

「白血病になった時にできること」

大嶋　祥高（柏崎市立南中学校3年）

「知らなかった骨髄バンク」

荻根澤昭人（三条市立第三中学校3年）

☆新潟県知事賞

少しの勇気

上越市立直江津東中学校一年　**細野　芽生**

私は骨髄移植についての知識が全くなかったため、辞書で調べてみましたが、難しい言葉が多く、なかなか理解できなかったので、骨髄移植のドナー経験のある父にいろいろ教えてもらいました。

まず、骨髄移植とは、白血病などの血液難病の患者美正常な骨髄細胞を静脈内に注入して、移植する治療の事です。簡単に移植と言いますが、移植する側と患者側との適合する確率が非常に低いのが難点です。

私たちが通常、血液型といっているものとは別に、ＨＬＡと呼ばれる白血球の血液型と言われるものが一致しなくては移植はできません。同じ父母の兄弟間で一致する確率は二十五パーセント、非血縁者間で一致する確率は数百から数万分の一といわれています。非血縁者間でのドナーを探すのは、とても難しいことです。

そこで骨髄バンクというものがあります。

私の父母は、骨髄バンクのドナー登録をしています。父は、私が小学三年生の時に骨髄移植をしました。その時の体験談を聞かせてもらいました。

移植する半年くらい前に、骨髄バンクからＨＬＡの適合した患者さんが見つかったという知らせがおくられてきました。ドナーである父は、移植の意思があることを骨髄バンクに伝えました。移植までの間、何度も長岡の赤十字病院に通い、血液検査や健康診断を受けました。健康診断の結果に基準がとても厳しいということを聞きました。それは、ドナーと患者さんの安全を第一に考えてのことだと教えてもらいました。健康診断の結果の基準が一つでもはずれると、そこで移植の準備は中止されてしまいます。過去に何度か途中で健康診断の結果が良くなく、中止された経験もあり、かなり健康に気を遣っていた、と聞きました。手術は約三時間ほどだったとのことです。手術室に入るときは、やはり怖かったそうです。

父が移植した患者さんは関西に住む、十代の女の子だったそうです。

移植が終わり、何か月かたってから、患者さんのお母さんからお礼の手紙が来たそうです。

移植について、びっくりしたことは、患者さんの血液型がドナーと同じ血液型に変わってしまうということです。

例えばＢ型の血液型の患者さんに、Ａ型のドナーから移植すると、その患者さんは、Ａ型に変わってしまうということです。

骨髄移植は難しいイメージがありますが、父から体験談を聞き、とても身近に感じました。私の周りには幸いにも白血病の人はいませんが、日本や世界には、たくさんの移植を待っている人がいるんだということ、そして少しの勇気で人の命を救うことができるすばらしさを知りました。

◆活動報告

☺タオルハンカチ・文具のプレゼント

平成25年11月20日(水)長岡赤十字病院、新潟県立がんセンター新潟病院、新潟大学医歯学総合病院の3か所へイオン上越店様より黄色いレシートキャンペーンで頂きましたタオルハンカチと小児科用の文具をお届けしてきました。どこの病院でも大変喜ばれました。小さな活動ですが、患者さんの大きな希望になってくれると良いなあと思いました。

☺全国大会

11月9日（土）千葉市にて開催された『骨髄バンク推進全国大会in千葉』に出席しました。第一部は、来賓祝辞や個人、団体への感謝状贈呈を中心とした式典が行われ、第二部では、患者さんとの適合通知が届いてから提供までのドナーコーディネートロールプレイングが丁寧に再現され、ドナーや家族の不安が払拭されていく様子が良く理解でき感心しました。第三部では、浅野史郎氏（元宮城県知事）の講演と佐々原聖子さん（骨髄バンク普及大使）のコンサートがあり感動の中終了となりました。来年度は9月13日（土）に福島市で開催されます。

☺黄色いレシートキャンペーン呼びかけ

平成26年1月11日（土）15時から17時の2時間４名で行ってきました。あいにくの大雪のためかいつもより人出は少ないように感じましたが、それでも大きな声で「黄色いレシートがお手元にございましたら、ボランティアボックスへ投函をお願いします」とお願いすると、「どこに入れたらいいの」と言ってくれる方が多くいました。2月も11日は祭日のため、呼びかけしたいと思っています。どうか皆様の協力をお願いします。

☺100円募金の呼びかけ

平成25年10月26日・27日上越市本町にて開催されました「越後謙信SAKEまつり2013」にて他のボランティア団体と共に100円募金の呼びかけに参加してきました。とても寒い両日でしたが、多くの方が来ていました。お酒を飲んでほろ酔い気分の皆さんが羨ましいと思いながら、声を掛けさせてもらいました。

☆会員の皆様へお願い☆

◆寄付付き自動販売機設置

当法人への寄付付き自動販売機が柏崎石地シーサイドカントリークラブに設置されたことは、vol.15にてお知らせしましたが、なかなか第2号機設置が実現していません。会員の皆様で「置いても良いよ」という方、「働いている企業へ聞いてみるよ」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい。直接サントリービバレッジ（株）担当高林☎0258－61－2620に連絡いただいても結構です。ご協力をお願いします。

◆「ひとくちの寄付」にご協力を

この度「にいがたNPO基金事務局」より声をかけて頂きまして、参加しました。

なに？と思われる人も多いと思いますが、今回参加団体(14)の中から応援したいなと思われた団体へ一口1000円からの寄付で活動を手助けする事が出来るシステムです。期間は2014年5月末までになります。詳しくはhttp://www.npo-foundation.comへお問い合わせ下さい。当法人への応援お願いします。

ありがとうございました

（平成25年9月21日～平成26年1月20日まで）

【寄付】
○川上春子様　○長谷川武様･恵美子様　○(有)長谷川不動産センター様　○松矢公子様　○神喰キミ様
○BSN愛の募金様　○ホクギンまごころの会様　○チャリティーゴルフ参加者様　○新潟県保険業協会様
【賛助会員】
○中村由美子様　○(株)平林塗装様　○金井芳子様　○西谷亮様　○川崎和子様　○町田和子様
○(有)白砂精工様　○石田愛里様　○田中登志夫様　○小池和子様　○(有)長谷川須藤さんセンター様
○長谷川武･恵美子様　○小椋明美様　○小山くるみ様　○小山弘子様　○黒川忠行様
○武藤静子様　○折笠智子様

◆実施済み献血並行・集団ドナー登録会（登録人数）

○10/２	五泉市村松保健センター	0名	○10/２	シイエムケイ蒲原電子（株）	0名
○10/２	南部郷総合病院	1名	○10/４	国土交通省北陸地方整備局羽越河川国道事務所	0名
○10/４	荒川ショッピングセンターアスコ	1名	○10/７	千手中央コミュニティーセンター	2名
○10/９	凸版印刷（株）新潟工場	0名	○10/９	新発田地域振興局	2名
○10/10	明星セメント糸魚川工場	14名	○10/10	糸魚川市役所能生事務所	5名
○10/16	長岡地域振興局小千谷庁舎	1名	○10/23	新潟経営大学	2名
○11/13	津南町役場	0名	○11/28	柏崎市役所	16名
○H26　１/15	村上市役所	1名	○１/15	村上地域振興局	1名

●休日集団ドナー登録会
10月26日（土）　魚沼小出ボランティアセンター　5名

＊長岡献血ルーム「千秋」
○９月27日　0名　○10月25日　2名　○11月29日　0名　○12月13日　1名
＊２月28日、３月28日ともに午後からボランティアがお声掛けをしております。ご協力をお願いします。

第6回通常総会のお知らせ

日　時：平成26年5月11日（日）13：30 ～ 15：00
場　所：上越市市民プラザ（上越市土橋1914－3　☎025－527－3611）第6会議室
備　考：正会員には議決権があります。4月に入ってから資料を送りますので、同封のハガキで必ず出欠のご返信（委任状）をお願いします。なお、当日平成26年度の会費納入を申し受けます。

編集後記

平成25年度も計画通りに進んでいくことができました。これも会員はじめ応援して下さる皆様方のおかげです。ありがとうございました。1面にもありますように今年は当法人や骨髄バンクを応援して下さっている上原浩治選手が大活躍されました。「雑草魂」といわれている通り、努力したことは無駄にならないと思いました。随分前に闘病中の話を聞いたという方からご家族が病気になられたといって連絡を頂きました。私の話を覚えてくれたこと、頼って頂けたことが感謝です。つらい事もあるでしょうが乗り越えて頂きたいと切に願っております。　小林

◆日本骨髄バンクの現状（平成25年12月末現在）

	11月	12月	現在数	累計数
ドナー登録者	2,631	3,273	441,525	601,047
内新潟県	22	6	9,925	－
ドナー減少数	1,296	2,123	－	－
内新潟県	30	40	－	－
患者登録者	230	234	2,278	40,555
骨髄移植例数	117	92	－	16,409

＊12月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：33件

◆NPO法人 骨髄バンクサポート新潟 入会のご案内

正会員	賛助会員
個人一口　2,000 円より 団体一口　10,000 円より	個人一口　2,000 円より 団体一口　10,000 円より
ボランティア活動を一緒にして下さる方 総会での議決権あり	資金援助をして下さる方 総会での議決権なし

振込先口座名　NPO法人骨髄バンクサポート新潟
郵便振替口座　００５００－５－９７１４２

骨髄バンクへのお問合わせ　0120-445-445

特定非営利活動法人　骨髄バンクサポート新潟　HP http://kbsniigata.com
〒943-0805 上越市木田2-3-11-5　電話 025-546-7337　FAX 025-546-7338　Mail kbsniigata@gmail.com